

大学と連携した食育フェスタ等の実施！

事業実施主体：株式会社京阪百貨店（大阪府）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、孤食の増加や食事の摂り方の偏りの傾向があることから、家庭内における共食の推進や栄養バランスに配慮した食生活を提案する取組が必要となっている。
- 府民に対して、食や食育に関する体験や学習などの機会の提供や普及啓発の取組を実施した。
- 若い世代から高齢者までの幅広い世代を対象に、効果的かつ効率的に栄養バランスに配慮した食生活の実践や食文化の保護・継承、地域食材への価値の再発見など、食や食育に関する関心や理解を促した。

大阪府



（大阪府全域）

【取組の内容】

- 食育フェスタの開催（京阪百貨店守口店横カナディアンスクエア）
大学生と連携して、参加者に対して食育の体験や健康チェックを実施し、野菜の摂取量など栄養バランスや地元産食材についての説明を行うことで、参加者の栄養バランスに配慮した食生活の実践や地元食材の価値の再発見など、食や食育に関する関心や理解を促した。
- 食育レシピの作成・配布等
栄養や食育を専門にしている大学生と連携して作成した「地域や旬の食材を活用した郷土料理や栄養バランスに配慮した食育レシピ」、食育啓発ビラなどを毎月店頭にて説明・配布することで、来場者の食文化の保護・継承や栄養バランスに配慮した食生活の実践を促した。



追手門学院大学による
模擬セリ



梅花女子大学による
野菜キーホルダーづくり
のワークショップ



相愛大学による
食事診断等

【取組の成果】

- 百貨店来場者に対して、食や食育に関する体験や普及啓発を実施することで、普段、食や食育に関心が低い者への啓発の推進が図られた。
- 若い世代であり、かつ、栄養や食育を専門として学んでいる大学生と連携して、レシピの作成・配布やイベントを実施したことにより、栄養バランスに配慮した食生活や地元食材などへの関心が高まった。

【事業の目標】

- ① 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合
事業実施前 37.7%
→事業実施後 86.7%
- ② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前 74.8%
→事業実施後 90.0%

